

土木ふれあいフェスタ 7/28 (月) 12:00-17:00、7/29 (火) 11:00-17:00、7/30 (水) 11:00-16:00

窓から外を見てください。まち、道、橋、山、川…、土木の世界はあまりに身近で見すごされがちです。でも、その景色の中にも土木技術の結晶があふれています。そこで、「土木」が身近になる、子供から大人まで楽しめるいろいろなプログラムを用意しています。

▶体験広場

「土のう」つくりや「コンクリート」を使った飾り物作りを体験しませんか。ほかにも地震や下水道の仕組みが学べるコーナーがいっぱい。建設機械模型のリモコン操作も楽しめます（日によって実施内容が異なります）。



▶遊びの広場

ドラえもんやコナンが土木の世界を案内、ぬりえやおえかきも楽しめます。



▶クイズラリー

会場内のクイズに挑戦！参加した人にはプレゼント贈呈。



どぼくカフェ「道が趣味」 7/29 (火) 18:00-20:00

文明を作ってきた土小屋と文化としてのドボクに興味ある若者、その様子に気づく街ゆく人々。日常にさりげなく現れる土制的なるもの。それが「どぼくカフェ」の魅力です。今回、名古屋で初めての開催で、テーマは「道」。道を趣味にするってどういうことでしょうか？あなたを奥深いドボクワールドへお連れします。



▶プログラム：

- 1.「どぼくカフェって？」／高橋良和（どぼくカフェ主催者・京都大学）
- 2.「私の道の楽しみ方」
 - *「国道名所をめぐる」佐藤健太郎（サイエンスライター）
 - *「名古屋の道も知ってちょよ〜！」山形みらい（タレント・名古屋在住）
- 3.「自由討論：道が趣味って？」
 - 佐藤健太郎、山形みらい、兼岩孝（栄公園振興（株）取締役兼総務部長）、高橋良和

▶佐藤健太郎（<http://blog.livedoor.jp/route408-drive/>）
化学を専門分野とするフリーサイエンスライター。国道に関する造詣が深く、日本道路協会誌「道路」、月刊誌「新潮21」にてコラム連載中。

▶山形みらい（<http://d.hatena.ne.jp/xxSweetieex/>）
女性タレント。道路が好きなおことから「国道・高速道路タレント」最近「SA・PAドル、ハイウェイタレント、道路・交通系タレント」とも呼ばれています。

土木コレクション HANDS+EYES 7/28 (月) 12:00-19:00、7/29 (火) 11:00-19:00、7/30 (水) 11:00-16:00

土木の魅力、土木の範囲の広さや奥深さを実感してもらうことを目的に、「土木コレクション」として、土木界が保有する歴史資料・図面・写真など普段目に見ることができない貴重な資料を展示します。オアシス21では、中部エリアの12事例を中心に全国の合計29事例を紹介します。土木コレクションと合わせて、中部地方の選奨土木遺産を解説するパネルを展示します。

土木コレクション 展示パネル一覧（●は HANDS、○は EYES の事例）

中部エリア

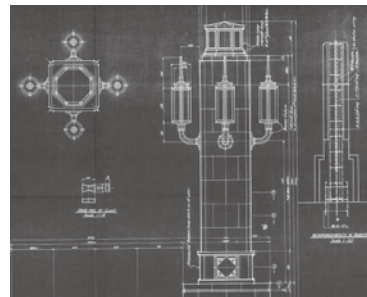
- 1 木曽川橋 ● 4 木曽川下流改修 ● 7 牛伏川階段工 ● 9 末浄水場 ● 11 旧住吉浄水場 ●
- 14 小牧ダム ● 16 堀川・中川運河 松重閘門 ● 18 末広橋梁 ● 19 富山 LRT ●
- 20 富岩運河 中島閘門 ● 26 明治用水旧頭首工 ● 27 西天竜幹線水路円筒分土工群 ●

北海道・東北・関東エリア

- 8 勝沼砂防堰堤 ● 10 駒沢給水所 ● 12 奥沢水源地水道施設 ● 15 掘割川 ●
- 21 函館港改良工事 ● 23 犬吠埼灯台 ● 25 安積疏水 ● 28 大湊第一水源地堰堤 ●

関西・中国・四国・九州エリア

- 2 毛馬閘門・洗堰・長柄運河 ● 3 吉野川第一期改修工事 ● 5 アカタン砂防堰堤群 ● 6 穴太衆積みの石垣 ● 13 三滝ダム ●
- 17 大阪築港 第一号繫船岸壁住友棧橋 ● 22 三角西港 ● 24 首里城城郭の復元 ● 29 白水堰堤 ●



木曽川橋 / 親柱と欄干の設計図

HANDS 土木エンジニア ドローイング展

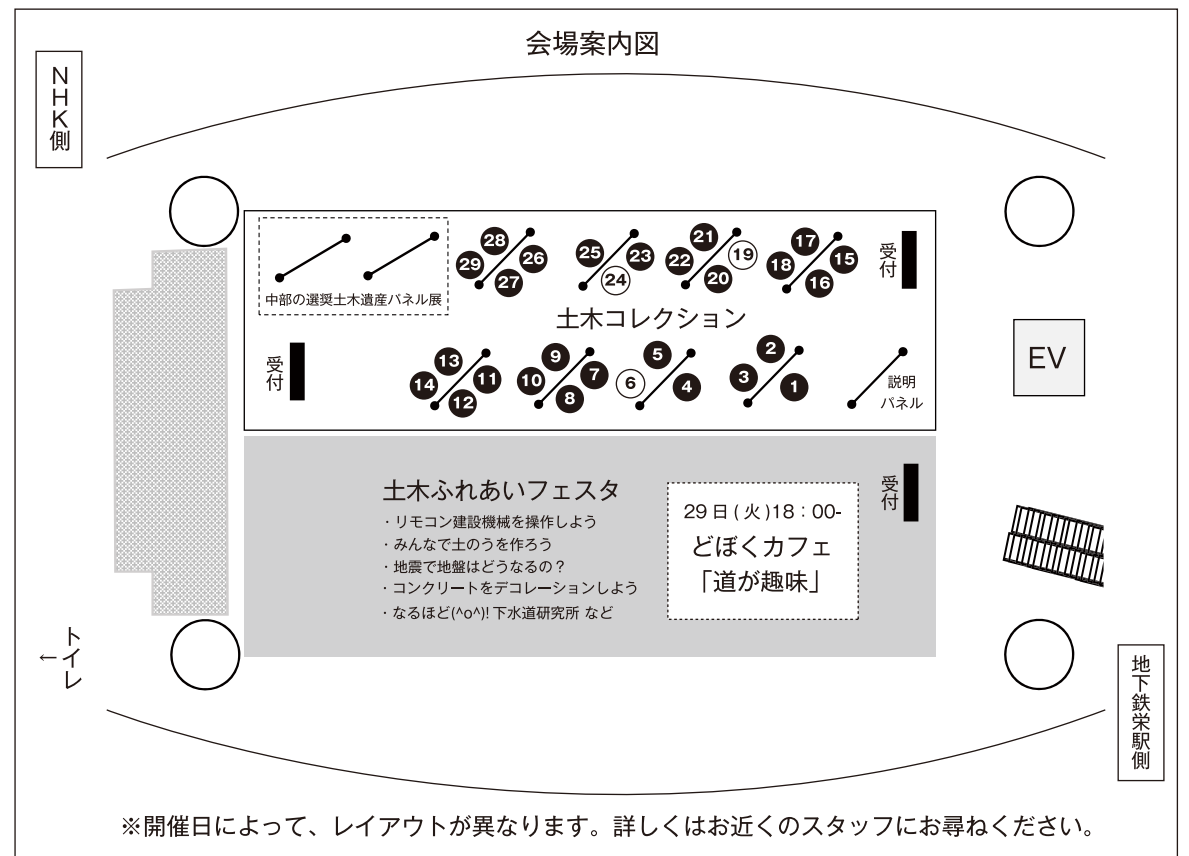
明治期から昭和初期、土木エンジニアは高い志と熱意、プライドを持って国土づくりに取り組んできました。この時代のエンジニアによる手書きの図面一枚一枚からは彼らの意思と当時の技術の高さが伝わってきます。

EYES 土木エンジニア ニューヴォー展

環境や技術、デザインなど、はっと目が奪われる、未来を見通した土木事業のこれからを感じてもらえるような新しいコンセプトの現代のプロジェクトを展示します。

中部の選奨土木遺産パネル展

土木学会が認定する優れた土木遺産のラインナップです。中部日本が誇る土木構造物は、いつ、なぜ、どのようにして造られたのか。これが見ると見え方が変わります。



※開催日によって、レイアウトが異なります。詳しくはお近くのスタッフにお尋ねください。